

苗の植え方・育て方

木は夏から秋に太ります。夏を越すまでは水をしっかりやりましょう。

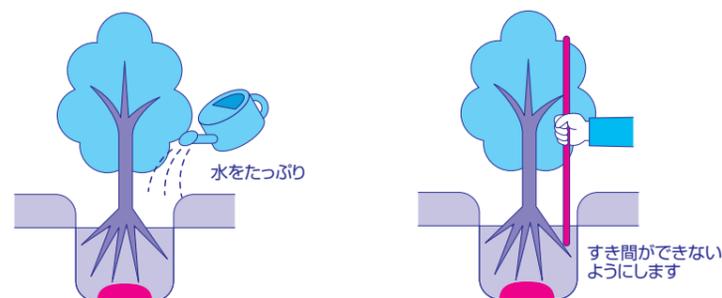
《フルイ苗の場合》

① 地植えする穴へ苗木の根が広がるように置きます。全体の半分を埋め戻し、土をかぶせ水を穴いっぱいにはじめ注ぎ込みます。時間はかかりますが、ゆっくりと水がしみこみ、水が無くなってから残りの半分を埋め戻して下さい。水が流れ出ないように、周囲に土で土手を作るようにすると、いいでしょう。

② 再び、水をしっかりかけましょう。接ぎ木している箇所は地面から出るように植えて下さい。

〈ポイント〉

埋め戻す際に土と根の間にすき間が出来ていますので、しっかりと土が入り込むように、棒などを利用して、すき間なく突き込んで下さい。その時、根を傷めないように注意して下さい。



③ 肥料は、植えてから1か月以上たって適量を苗木の周りに、木にかからないように与えて下さい。肥料によっては、長く効く肥料があります。よく説明を読んで与えて下さい。

ブルーベリー

ブルーベリーは他家受粉です。別の品種と一緒に植えて育てると、果実も大きくたくさん実らせることができます。根が地表近くに出るため、土が乾燥するとすぐに生育に影響します。そのため、特に夏は水管理が大切です。

オリーブ

日当たりを好みます。
根が浅いので、強風などで倒れやすい特徴があります。支柱を添えるといいでしょう。

温州ミカン

日当たりと水はけがよく、風が吹き付けない場所に植えましょう。
夏に乾燥しやすい場合はワラなどで根元を覆うとよいでしょう。
最初の年の冬越えは、苗木に冷たい風が当たらないよう葉の部分をコモやナイロン等で、根元はワラなどで覆いましょう。

「一株植樹」運動に参加しませんか。

樹木には、四季折々の表情があり、私たちの暮らしに潤いを与えてくれます。また二酸化炭素を吸収し、土壌を豊かにし、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現に貢献します。

「一株植樹」運動は、毎年実施している緑化推進運動の一つで、お子様の誕生・入学・卒業等の記念樹や、家庭環境の緑化などを進めるため、苗木生産者の協力を得て優良な苗木を比較的安価に提供いたします。

緑豊かな郷土とするため、この運動に多くの方が参加され、緑を育てていただきますようお願いいたします。

まず身近な家庭の緑化から始めませんか。

令和8年1月



この事業の収益は「緑の募金」に
充当させていただきます。

【苗木の申込方法】
令和8年
2月6日(金)
までに

現金を添えて市町村役場に
申し込んでください。

【主催】(公社)鳥取県緑化推進委員会
【協力】鳥取県山林樹苗協同組合
北 栄 グ リ ー ン

【苗木の引渡し】

苗木の引渡しは、3月中旬を予定しておりますが、詳しい配布日時・場所については各市町村役場でご確認ください。

なお、苗木のお受け取りの際は、苗木を入れる袋を持参してください。

※この運動に対する照会は、各市町村役場にご連絡ください。

